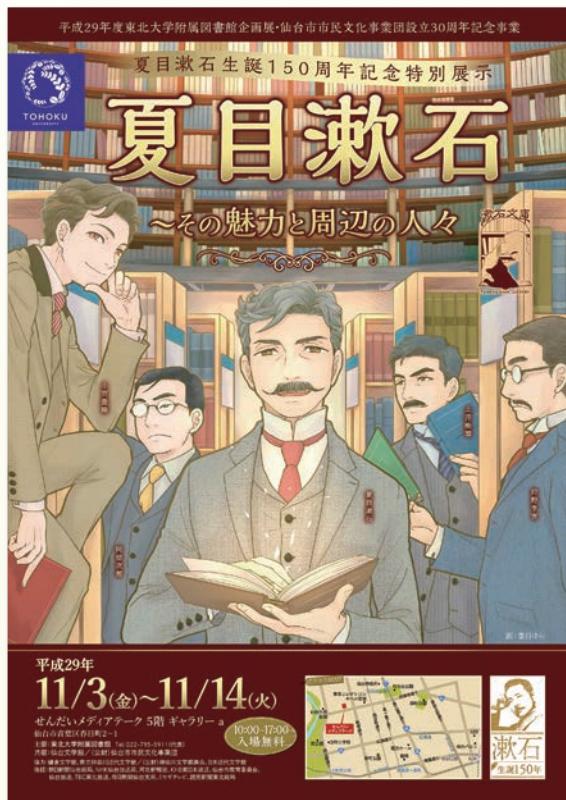




KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.42, No.3

日時 平成29年11月3日(金)～14日(火)
10時～17時(会期中無休)
会場せんだいメディアテーク5階ギャラリーa
※入場無料です



平成29年度東北大学附属図書館企画展・仙台市市民文化事業団設立30周年記念事業
夏目漱石生誕150周年記念特別展示

「夏目漱石～その魅力と周辺の人々」の開催



秋号

Contents

表紙

夏目漱石生誕150周年記念特別展示
「夏目漱石～その魅力と周辺の人々」の開催

TOPICS

- 夏目漱石生誕150周年記念特別展示 2
「夏目漱石～その魅力と周辺の人々」を開催
- オープンキャンパス 2017 4
- 日EUフレンドシップウィーク2017 5
「EUと科学技術」展示&講演会を開催

SERIES

- 青葉山コモンズが、各種イベントや授業・学習に活用されています 6
- 〈つながり〉の一冊
『文体練習』文学研究科博士後期課程1年 玉田優花子 7

TOPICS

- 子どもたちの10年後のために協力しています 7
—中学生職場体験を受入れ—

Information

- Facebook正式運用を開始しました 7
- 東北大学附属図書館オリジナルグッズ 好評発売中！ 8
- 海外へ情報を発信 一留学生コンシェルジュが活躍 8
- 東北大学創立110周年・伊達政宗公生誕450年記念展示の開催 8

夏目漱石生誕150周年記念特別展示「夏目漱石～その魅力と周辺の人々」を開催

昨年開催した企画展「漱石文庫～文豪が遺した創作の背景」に引き続き、来る11月3日（金）より、せんだいメディアテーク5階ギャラリーaにおいて、夏目漱石生誕150周年記念特別展示「夏目漱石～その魅力と周辺の人々」を開催いたします。

10年間という短い創作期間、世に送り出された夏目文学の周辺を、今なお多くの読者が読み継ぎ取り囲んでいるように、49歳でこの世を去るまでの間、文豪夏目漱石の周辺には、彼を慕い集った人々が多く存在していました。そのような漱石の人としての魅力を、自身の蔵書と彼を取り囲む家族・友人・弟子たちの資料から繙いていく展示会となっております。

東北大学所蔵の「漱石文庫」を中心に、親友・狩野亨吉、後輩・土井晩翠、恩師ラファエル・フォン・ケーベル、愛弟子・小宮豊隆と阿部次郎の各個人文庫の紹介と漫画家香日ゆら氏との協働展示、仙台文学館による展示もご覧いただけます。

みなさんが魅力的だと思う夏目漱石とは、どのような人物でしょうか？この機会にぜひ、多くの方々に心ゆくまでご観覧いただきたく、ご来場をお待ちいたしております。ご入場の際には、等身大の夏目漱石がお迎えいたします。

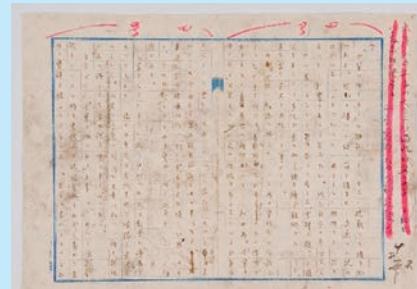
【第1部】 漱石文庫



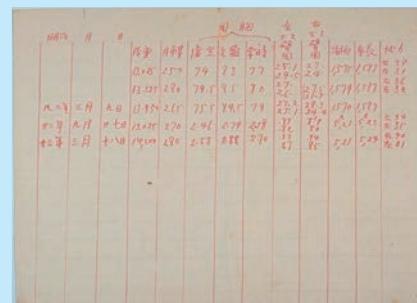
様々なエピソードが語られている夏目漱石とは、どのような人物だったのか？ここでは、漱石の旧蔵書である漱石文庫より、自筆の書簡、日記、原稿といったプライベートな資料を紹介しながら、漱石の内面に迫ります。終の棲家「漱石山房」に保管されていた旧蔵書3,000冊余りを、東京大空襲から逃れるように、当時の図書館長だった漱石の愛弟子小宮豊隆が東北大学附属図書館へ移管した蔵書が「漱石文庫」です。



▶夏目漱石詩 平福百穂画幅

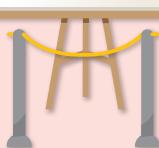


▶吾輩は猫である序文原稿



▶自筆 身体検査の記録

【第3部】 漱石と周辺の人々



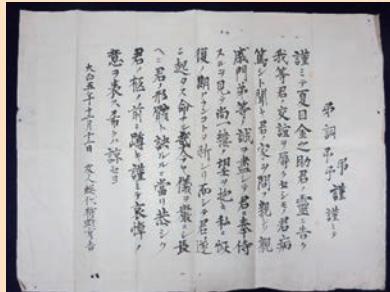
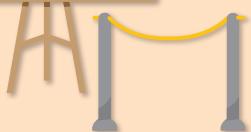
漱石との面会を求める弟子たちのために、漱石山房では毎週木曜日を面会日と定め、それはやがて「木曜会」と呼ばれるサロンとなりました。この木曜会のメンバーであった阿部次郎と小宮豊隆は、その後東北帝大法文学部に教授として赴任しました。二人は専門の枠を超えて、他の教授たちと交流を深め、書画会や俳諧の研究会などの集まりを持つようになりました。第三部では、仙台文学館が所蔵する教授たちの書画資料を中心に、阿部・小宮がもたらした仙台の文化の足跡を紹介します。また、東京帝大での後輩にあたる土井晩翠と漱石とのエピソードも紹介します。



▶漱石自画像
入りはがき
土井晩翠宛
(晩翠文庫)

TOPICS

[第2部] 漱石あれこれ



▶漱石告別式弔辞下書き(狩野亨吉筆)



▶夏目漱石宛 狩野亨吉書簡

来るものは拒まなかった漱石。その周辺には家族や友人、多くの弟子たちがいました。ここでは、漱石と周辺の人々との関係にスポットをあて、彼の魅力を再発見いただきます。当館最大のコレクション「狩野文庫」の旧所蔵者で漱石の親友だった狩野亨吉との関係や、漫画家・香日ゆら氏のキャラクターによる漱石の大相関図も見どころの一つです。

漱石と周辺の人々

ロンドン時代に
交流した後輩
土井晩翠

一目置かれた
弟子
阿部次郎

愛弟子
小宮豊隆

恩師
ケーベル先生

晩年の弟子
芥川龍之介

文豪
夏目漱石

もう1人の
文豪
森鷗外

全集刊行!
岩波茂雄

大親友
正岡子規

妻
夏目鏡子

© Yura Kouhi

なお、この展示会に先立ち、10月17日(火)から10月30日(月)まで、市内青葉通り地下道ギャラリーにおいて、仙台文学館、日本近代文学館、県立神奈川近代文学館、鎌倉文学館、新宿区を交え、漱石展PR展示を行いますので、合わせてお楽しみください。



▶漱石書簡
土井晩翠
(林吉)宛
(晩翠文庫)



オープンキャンパス 2017

平成29年度のオープンキャンパスは、7月25日(火) 26日(水)に行われ、全国各地から高校生が本学を訪問し、キャンパスライフを体験しました。附属図書館では、本分館それがキャンパスの特色に合わせたイベントを企画し、全国でも有数規模のオープンキャンパスを盛り上げました。

● 本館

本館では、「御朱印帳スタンプラリー」、「国際祭り@（アッと!!）東北大学附属図書館」「オープンキャンパス展示：The Amazing Collections of Tohoku University Library」を開催しました。

スタンプラリーは、館内6カ所に設置されたスタンプを集め、御朱印帳を完成させるというものです、完走者にはクリアファイルを進呈しました。同設の萩之助神社には思い思いに願い事を書いた絵馬型の付箋が奉納されていました。



▶ 絵馬奉納所には多くの人が集まりました



▶ 各国語ミニ講座は今年も大盛況（写真はイタリア語！）

国際祭りでは、留学生コンシェルジュが、母国や学生生活についてのプレゼンテーション、各國語のミニ講座、民族楽器や伝統遊戯の実演を行いました。

また、多目的室では、約10メートルにも及ぶ「百鬼夜行絵巻」全巻や当館所蔵の貴重な資料が展示され、来館した高校生は多機能な図書館を満喫していました。来館者は2日間で約7,800名を数え、大盛況となりました。

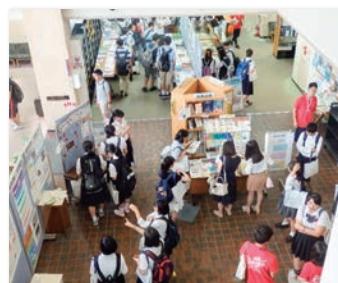
● 医学分館

医学分館では、解体新書などの名著・重要資料によって医学発展の歴史を辿るとともに、最新解剖画像を提供するデータベースや現在の主要な教科書等により、現代の医療

と医学教育について紹介する展示を実施し、昨年より200名以上多い1,700名を超える来館者がありました。



▶ 資料を眺める見学者



▶ 見学者で賑わう館内

会場では華岡青洲による乳癌手術の症例集や明治時代の学生が記録した講義ノートなどを熱心に眺めたり、教科書の内容を確認したりする光景が見られました。また、人体模型の組み立て体験や、人体模型をモチーフにしたしおりの配布も実施し、いずれも好評でした。

● 北青葉山分館

北青葉山分館では、「高校生の論文発表～世界中で読まれる論文～」と題した展示を行いました。仙台市内の高校をはじめ、日本の高校生の研究成果が論文

となって発表・掲載された事例を紹介しました。また、雑誌「Nature」の配架場所を探してもらい、当たった方にはささやかなプレゼント（しおり等）を差し上げました。



▶ エントランスの様子



▶ 展示を見学する高校生達



▶ パネル展示の様子

2日間で約700名が来館し、展示や館内の豊富な資料を興味深く見学する高校生の姿が多く見られました。

TOPICS

✿ 工学分館

工学分館では「ぐるっと1周！工学分館シールラリー」を実施し、参加者は図書フロア、洋雑誌フロア、Language Studioなど館内5か所のポイントを巡りながら、さまざまな資料・設備を見学していました。ラリーを完走して附属図書館イメージキャラクター「はぎのすけ」のパズルを完成させた方には、オリジナルクリアファイルを差し上げました。



▶エントランスホール



▶完走者にはカウンターで記念品を進呈



▶シールポイント

キャンパス中央に位置する当館は休憩場所としても利用され、2日間で約1,500名の来館者がありました。

✿ 農学分館

農学分館では、雨宮キャンパスの記事パネル、新渡戸稻造の著書「農業本論」などの農学関係図書のミニ展示、青葉山コモンズ周辺の画像投影を行いました。今回は青葉山に移転後初めてのオープンキャンパスで、分館は2日間で約1,500名の来館者で賑わいました。



▶青葉山コモンズ周辺の画像を楽しむ



▶農学関係図書のミニ展示

日EUフレンドシップウィーク2017「EUと科学技術」展示&講演会を開催

今年の日EUフレンドシップウィーク展示は、5月24日(水)～7月21日(金)の期間、「EUと科学技術：未来を創る日欧フレンドシップ」と題して開催しました。古代からの科学技術史や、現代のEUの科学技術政策をパネルで紹介し、ケプラーの法則、ダーウィンの進化論など貴重な当館所蔵資料を展示しました。さらに、EUによる国際協働プログラムHorizon2020に参加している本学教員の最先端プロジェクトを紹介しました。また、これらの展示に関するクイズ企画も実施し、175人の参加者にEUグッズを進呈しました。

アンケートでは「EUについてもっと知りたい」「これを機会に、自然科学に関する洋書も手に取ってみたい」などの感想がありました。



▶菅沼教授による講演

7月13日(木)には、Horizon2020を通じた日欧共同プロジェクト「iKaaS」をテーマとした講演会「未来のスマートシティを創る：この街でつながる人・モノ・情報・知識」を開催しました。第一部では、本学の菅沼拓夫教授、門間陽樹助教に、iKaaSによるタウンマネジメント、ヘルスケア分野への応用についてご講演いただき、第二部では、早稲田大学の橋本和夫教授をコーディネーターにお迎えして、各企業のプロジェクトメンバーによるパネルディスカッションを行い、来場者も交え大変な盛り上がりを見せました。



▶展示会場の様子

SERIES

青葉山コモンズが、各種イベントや授業・学習に活用されています

学び、憩い、交流する青葉山新キャンパスの共有地(コモンズ)

ラーニングコモンズ－青葉山キャンパス最大規模－

160席規模の自主的な学びと交流のためのラーニングスペース



授業・ゼミ



▶授業の様子

学会・イベント



▶農家のたまご塾 2017
塾長である農学研究科 伊藤房雄教授の講話の様子 H29.6.10

▶東北大「社会にインパクトある研究」第1回シンポジウム H29.6.23

閲覧席－ゆとりと静寂で集中学習－

約160席の静かなパーソナル学習空間

図書収容可能冊数 : 21万冊

現在、約14万冊の図書・雑誌(農学・生命科学中心)を収容



▶2階閲覧室の様子



▶2階閲覧室ロフト



▶1階ラウンジ

共用書庫－各キャンパス図書館のデポジット－

図書収容可能冊数 : 50万冊

現在、約5万冊収容

・搬送サービスでも利用可能です。

・平成29年7月より、一部利用開始。



東北大学附属図書館農学分館 開館時間

平日 9:00～20:00

(春・夏・冬季休業期間等)
(17:00まで)

農学研究科・農学部所属の方

平日・土日祝 7:00～24:00



青葉山新キャンパス
地図

SERIES

〈つながり〉の一冊 『文体練習』



言葉は意味だけじゃない

文学研究科博士後期課程1年 玉田優花子

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていくくりレーエッセイです。



『文体練習』(レーモン・クノー著；朝比奈弘治訳)
本館学閑2階 KR168/01

奇妙な本である。日常の何の変哲もない一場面をおよそ100通りの文体で書いただけなのだ。しかし私は厳かに、あらゆる人に勧めたい。

本書は第一に、学業、生活、人生に役立つ。言葉には意味（表現内容）だけでなく、文体（表現形式）がある。本書をめくってみれば、後者の側面に嫌でも意識的になれるだろう。文体を使い分けることが必要である。例えばレポートや発表と日常会話とでは求められる文体が異なる。レポート書きに行き詰まつたら、内容より先に形式を見直してほしい。あるいは嫌な出来事があったら、それを本書のどれか好きな文体で書いてみよう。終わった頃、あなたは出来事の内容を自身から切り離し、形式や表現を純粋に楽しんでいるはずだ。こうした複眼思考や客観視は、大学生が学ぶべきことのひとつかもしれない。

本書は第二に、詩や娯楽に近い存在である。人はいつも筋の通った物語的なものを重視し、ささやかな一場面は役に立たないと切り捨てる。けれど、説明を拒絶する印象的な断片をただただ手放しに愛して何が悪いか。人物をすべて「納税義務者」に置き換え、文中にむやみに「前から後ろから」を挿入し、「故意に足を踏んだ」を「恋に梨を生んだ」と間違え……ほらこんなに馬鹿みたいに楽しい。

カッコいい大人は、こうして大真面目に遊ぶのだ。会話にすれば劇になり、感嘆文と感嘆符で書けば大事件になり、一節を反復すれば歌になってリズム、余韻、狂気、恍惚が生まれる……まさしく「言語遊戯の快楽」。この世につまらないことなんてないわ。

クノーの著書を朝比奈が訳した本書は、松島らの訳（こちらも力作だが）に比べて、全体的に上品な佇まいが魅力だ。ストイックな中に遊び心溢れる装丁はデザインフェチ必見。文体は日本語としてのリズムが何よりも優先され、品格と色気が漂う。ぜひ健やかに朗読したい。仏語が読める人には、巻末解説を読む前に訳書と原書を並べ、様々なことを感じてほしい。例えば「9・語順改变」…「廣場（ローマ）」や「ローマ（廣場）」と訳されるが、原書は « Rome (Cour de) ». deで終わるのがやけに間抜けだ。「12・ためらい」…原文のリズム、リアル、ワルツ。「25・擬音」…訳では単に「S系統のバス」だが、原書は « un autobus (pour qui sont ces serpents qui sifflent sur) de la ligne S ». 突然のラシーヌ登場に盛大にウケる。

文体を学び、文体で遊ぼう。99+3通りの文体は、要素網羅的な体系をなしているわけではない。103通り目のあなたの文体を鋭意開発してほしい。

TOPICS

子どもたちの10年後のために協力しています－中学生職場体験を受入れ－

附属図書館では、様々な職業やそこで働く方々と実際に接し、生きがいや使命感を持ち、社会に適応して主体的に行動しようとする意欲と態度を養うことを目的に、中学生の職場体験に協力しており、5中学校から16名を受け入れています。



▶本館は、中学生職場体験事業所（仙台市教育委員会）になっています



▶ワークスタディと課題に取り組む



▶目録を作成しよう

最初に、ネームプレートをつけ、出勤簿に捺印したときは緊張の面持ちでしたが、実際に本を手に取ると、興味がわき、目を輝かせて、図書貸出・返却体験、文献複写の受付・依頼等カウンターでのサービス業務のほか、雑誌の配架、資料の整理作業など、普段利用者には見えない仕事にまで積極的に取り組みました。

このように、毎年附属図書館は「子どもたちの10年後のために」仙台自分づくり応援団事業所として活動しています。また、今年度は医学分館でも職場体験を受入れる予定です。

Information

Facebook正式運用を開始しました



「青葉山コモンズ」情報公開用として試行運用していたFacebookが、このたび附属図書館全館の情報をお知らせするアカウントとして正式運用することになりました。ぜひ「いいね！」をお願いします。

<https://www.facebook.com/haginosuke.TUL/>

Information

◆ 東北大学附属図書館オリジナルグッズ 好評発売中！

東北大学附属図書館では、狩野文庫・漱石文庫などの貴重な資料を題材に図書館オリジナルグッズを製作し、東北大学生活協同組合の店舗にて販売しています。

東北大学のお手土産品として、また、東北大学を訪れた際の記念品として是非どうぞ。



►漱石絵葉書セット(8枚組)

◆ 海外へ情報を発信－留学生コンシェルジュが活躍－

東北大学附属図書館には、13か国15名（2017年 前期）の留学生コンシェルジュが勤務しています。彼らは主に留学生コンシェルジュカウンターで図書館の利用や学習に関する相談を受けています。また、図書館についての情報を英語版のニュースレター「The Concierge」や図書館紹介動画「Viva Library Weekly」で発信しています。

1 英語版ニュースレター「The Concierge」



留学生コンシェルジュの一員であるインド出身のTrishit Banerjeeさんが編集長を担当するこの「The Concierge」は、図書館でのイベント情報やおすすめの図書、彼らの出身地についてなどを英語で紹介する月刊ニュースレターです。当館英語版ウェブサイトで公開しているほか、附属図書館本館留学生コンシェルジュデスク脇や、グローバル学習室内リーダーズコーナーで紙版を配布しています。



2 図書館紹介動画「Viva Library Weekly」



図書館紹介動画「Viva Library Weekly」は、図書館の活用方法や最新Newsを動画と英語の解説で分かりやすく紹介するものです。仙台屈指のYouTuberであるイタリア出身の留学生コンシェルジュ、Davide Bittiさんが監督を勤めています。「Viva Library Weekly」は当館英語版ウェブサイトでも公開していますので、ぜひ視聴してみて下さい。

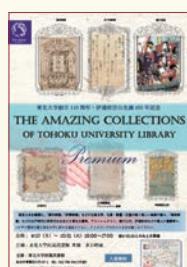


◆ 東北大学創立110周年・伊達政宗公生誕450年記念展示の開催

1 The Amazing Collections of the Tohoku University Library

会期：平成29年9月25日(月)～10月31日(火)10:00～17:00
※9月30日・10月1日のみ土日開場
会場：附属図書館本館 多目的室
※入場無料

国宝2点を筆頭に、「源氏物語」「伊勢物語」などの古典文学、北斎・歌麿・広重が描く美しい絵画の数々、「解体新書」などの江戸時代に西洋文化を伝えた著名な書物、AIN・シタイン、徳川三代、伊達政宗などの偉人の書簡等々、110年の歴史を経た東北大学に伝わる逸品とともに、アメイジングなひとときをお愉しみください。



2 川内キャンパスのむかしむかし I－仙台城跡二の丸－

会期：平成29年9月25日(月)～11月26日(日)
※入場無料 図書館開館中は見学できます。
会場：附属図書館本館 エントランスロビー展示コーナー^(平日8:00-22:00、土日祝10:00-22:00)

本学の川内キャンパスは、江戸時代には南側が仙台城跡二の丸、北側が武家屋敷として使用されてきました。その後、この土地は陸軍第二師団や米軍が利用した後に、本学のキャンパスとなりました。今回の展示では、川内キャンパスにおいて建物が建設される際等に行われる埋蔵文化財の発掘調査の概要を紹介します。

初めて公開される多数資料もありますので、この機会にぜひご覧ください。

